


人間学部 心理学科
助手 岩本 聖史 IWAMOTO Kiyohito
専門・活動分野 臨床心理学、医療・教育領域
最新の研究内容
テーマ： 能動的先延ばし行動と失敗行動の関係について
研究/活動紹介
①背景

学校領域では先延ばし行動による課題提出の遅れや、質の低下が問題視されています。また、ADHD特性との関連も指摘されており、特性を抱えながら学校に通っている学生も少なくありません。そのため、先延ばし行動は不適応的な行動として捉えられておりますが、適応的な側面もあるのではないかと疑問に思いました。私自身、先延ばしを能動的に行いモチベーション、集中力の向上に活用しています。

②目的

従来から検討されてきた不適応的な先延ばし者、適応的と考えられている能動的先延ばし者、先延ばしをしない者の3者に分け、失敗行動との関係について検討を行いました。

③成果・効果や展望

従来検討されてきた先延ばし行動を行う者はやはり、失敗行動も多いという従来どおりの結果が得られました。一方、能動的先延ばし行動を行う者は失敗行動が少ないことが分かりました。このことから、先延ばし行動は一概に不適応的な行動ではない可能性が得られました。

今回の結果から、先延ばし行動を不適応行動として単に止めさせるのではなく、適応的な側面もあると考え、上手に活用することができればより支援の幅が広がると考えます。能動的な先延ばし者の行動実行までの具体的なプロセスを調査し、どのように先延ばし行動を活用しているか、なぜ適応的なのかを検討することで具体的な支援に繋がるのではないかと思います。

<心理学特別講義の授業風景>


産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

- ・ 仁愛大学附属心理臨床センター、心療内科クリニック、公立中学校スクールカウンセラーとして、地域の心の健康の向上に努めています。
- ・ 福井県の心理師会に属し、研修会や講演会の企画・運営等行っています。

学会・経歴

- ・ 日本心理臨床学会
- ・ 中部人間学会

<お問合せ窓口>

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp